

NPOと市民をつなぐ

みやしるべ

vol.3

特集

NPO団体
座談会開催／

NPOって何？
学生たちと座談会開催！

NPO訪問記

- こころアートコミュニケーション —— P4
- サポートステーションFlat —— P5
- 市民オンブズ西宮 —— P6
- すこやか女性プロジェクト —— P7
- ダンスプロジェクト E.d.M —— P8
- Namae —— P9
- 西宮お手玉の会 —— P10
- new-look —— P11
- 阪神つばめ学習会 —— P12
- 阪神パソコンネット —— P13
- 兵庫県不動産コンサルティング協会 —— P14
- みやっこサポート —— P15



5名の高校生がNPOについての意見を述べています。

- 左端の女性：NPOの仕事って何？
- 2番目の女性：NPOのこと何も知らないのでしっかり学べたらいいな
- 3番目の女性：福祉と介護に興味がある
- 4番目の女性：教科書ではわからないことをもっと知りたい
- 右端の男性：座談会を通してたくさんのこと学びたい！

NPOについての疑問を解説
高校生・大学生たちの疑問に西宮の団体がお答えします！

特集 NPOって何？ 学生たちと座談会開催！

NPOという言葉を頻繁に聞くようになりました。
そこで次代を担う高校生等と共に、NPOについて
ざっくばらんに語り合う座談会を開催しました。



NPOとは

様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に収益を分配することを目的としない団体の総称です。
特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人が「特定非営利活動法人（NPO法人）」です。

日本の
認証NPO法人数
51,356
(平成28年11月現在)

兵庫県の
認証NPO法人数
1,408
(平成29年1月現在)

西宮市の
認証NPO法人数
179
(平成29年1月現在)

NPOをもっと身近に！

特定非営利活動とは、不特定かつ多数のものの利益に寄与することを目的とした20種類の分野に該当する活動のことです。

NPOは福祉分野のみでもありませんし、個人のボランティア活動とも異なります。

東 NPOの説明を聞いて、高校生のみなさんどんな印象を持ちましたか？

そこは高校生と語り合う場だったのですが、高校生にとって先生には相談できない斜めの関係の大学生の声を聴けるのはいい活動だと思いました。

半井 僕は以前NPO活動に参加したことがあります。

三枝 NPOって介護とか福祉だけと思っていたら、子供に関することとか色々あって文字では分らないことがあるんだなと思いました。

東 そう文字だけでは分らないこと一杯ありますね。

星 福祉以外に、教育とか環境とかにも取り組んでいるんだと思いました。

牧野 NPOって何も知らないかつたけれど面白いことをしているなと思いました。

東 ところでNPOって学校でどんな風に習っていますか？

亀井 NPOは非営利組織だよ

三枝 私はNPOのことを以前から少し知っていたのですが、みんなさんの話を聞いて、明るいというか、だれかにやらされてというわけではなく、自分

からいきいきとして、自分も幸せになり、人も幸せにする活動だなと改めて思いました。東やらされているわけじゃないというのは大きいポイントですね、仕事をしていくと、やらされ感みたいなものがで

てきますが、ここに集まっているみんなそれが無いんです。
廣田 それって親子関係でもよくありますね、子供のために良かれと思ってやつても、逆に子供の力をそいでしまったり、その線引きは障害者支援をしていても、毎日悩むとい

りますね。
星 マネージャーをしていて、人のために良くしてあげようと思ったことでも、その人にはありがた迷惑になることがあります。とがあり、その線引きに悩みますね。

木嶋 三枝さん、星さん、牧野さんは野球部のマネージャーということなんですが、人が嫌がることとか、そんなに割に合わないことを進んでるのか一度聞きたいと思っていました。マネージャーの苦労、人のお世話をして、勞があることはありますか？

引

星 マネージャーをしていて、人のために良くしてあげようと思ったことでも、その人にはありがた迷惑になることがあります。とがあり、その線引きに悩みますね。

NPO 等の参加者

「アクティブサービスプロジェクト」木嶋 / 「こころ・からだ研究所」久保 / 「コミュニティ事業支援ネット」東 / 「障害者タンデムサイクリング協会」横井
「障害者生活支援センター遊び雲」廣田 / 「ダンスプロジェクト E.d.M」矢野 / 「西宮いきいき塾」立田 / 「武庫川スポーツクラブ」田中（敬称略）



立田 ある面自然にまかせない
といけないところもあるので
すが、自分がこんなことでき
ますよとこういふことをいろんな
機会に言っておくと、必要に
応じて声がかかる。自分では
たいしたこととは思ってなく
ても人から見るとすぐ役
に立つことがありますよ。

東NPOの活動も野球部のマネージャーの活動も、おしつけがましくなるとダメという共通するものがあるかも知れませんね。いつの間にか活動してお手伝いができる、人助けになつてているのがいいですね。野球部のマネージャーの仕事の中で注意していることってありますか？

ちゃやまぜにすると、言つすけや
いけない」とまで言つてしま
います。

—高校生を引き入れるには

東 高校生の皆さんにNPOに参
加して欲しいと思つのです
が、どうやつたら参加しても
うえんのかな?

亀井 フェイスブックとか、S
NSで、こうじうのがあるよ
とが、こうじうイベントがあ
ることを知つたり、興味があ
ると、他の人と一緒に行こ
かなと思います。同世代同士
で広げていくのが良いと思
ります。

東 そう私のところでも、阪神
まち大学ところのをやってい
るんですけど、高校生の相談
が非常に多いんです。オープ
ンキャンパスで大学に行つた
りしますが、自分がどこにいっ
たら良いかわからなくて、ボ

ランティアさせてくださいと
いう相談が多いですね。職業
選択とか、大学の進路とか、い
限られた中から選ぶより、い
ろんな人とふれあつた方が視
野がひろがるので、練習のつ
もりでぜひ参加してほしいと
思います。



あつたり、地域のみなさんと
いうことになります。高校生
のみさんも、年齢を重ねる
中で、地域の活動とかNPO
の活動に関心を持ち、積極的
に取り組んでいただけるとあ
りがたいです。

一 講話会のまとめ

矢野 今回、いろんな職業の人、
いろんな活動をしている人と
話をしてみて、学生のみなさ
んも、そして、私たちもとて
も勉強になりました。社会課
題を解決するための仕事や活
動、一生懸命取り組んでいる
人がたくさんいるんだな、と
いうことがわかりました。こ
れからの時代、NPOと地域
のみなさん、そしてこれから
の日本を担う学生のみなさん
が一緒にになって地域のことを見
考えていかなければいけない
と改めて感じました。本日は
ありがとうございました。



各人が抱える苦悩や悩みを
アートセラピーで少しでも軽くしたい

特定非営利活動法人
こころアートコミュニケーションズ

理事長 安田 千壽子

やすだ ちずこ

阪神淡路大震災直後から約1年間に及んだ避難所での子どもたちへのボランティア活動等を通じ、色彩やアートの持つメンタルケアの力を実感し、多くの人々に理解していただき、広く社会に役立ててゆく必要性を感じ、2004年に設立しました。

連絡先
〒662-0832
西宮市甲風園1-15-17
TEL/FAX: 0798-63-1516
Mail: office@cocoro-art.org
URL: http://www.cocoro-art.org



団体としての活動の歴史は古く1994年から始まっています。そして1995年の阪神淡路大震災で混乱の中、被災した子ども達に支援の手を差し伸べようされました。その時子どもたちが自分の気持ちを絵に自由に表現することで、自分を解放することができます。心が休まったことがきっかけとなり、絵やアートの持つ力を幅広く皆さんに広めよう、と考えられ2004年にNPO法人を立ち上げられた

阪急西宮北口駅から5分位の所にある「こころアートコミュニケーション」の事務所に、理事長の安田さんを訪ねお話を聞きしました。事務所の入口の地面に色々なカラーのガラスやビー玉が埋め込まれていて思わず「かわいいな」と感じました。

一法人設立のきっかけ

一アートとは?



こちらのNPO法人で扱われているアートとは、絵(色彩)や彫刻、陶芸、音楽等所謂アート全般を言いこれらがもつ癒し効果で苦悩・悩み・迷い等を軽減しようとするものです。

特に言葉で十分表現できないことを気付かしてくれる力があるとのことです。アートセラピーが普通の図工と違う点は自分が作った作品に込めた思いを人と共有する点であり、また人に説明し質問に答えていく中で自分でも気付いていなかつた事が見えてくることである、とのことです。

一注力している活動

「こころアートコミュニケーション」では様々な活動をされています。ボランティアとして行っている老人施設への

活動していく中で幅広くアートの効用を広め「各人が抱える苦悩や悩みを少しでも軽くしたい」という思いで今後とも活動を続けていきたい、とのことでした。今後の活動継続と拡大を期待しております。

取材ご協力有難う御座いました。(訪問者 島崎)

訪問、終末期を迎える方への訪問、「あとりえ童」で行っている子ども中心の活動、障害のある方や働くママ等幅広く活動されています。その中でも特に注力される活動が「あとりえ」だそうです。1歳半から3歳を対象にした「よちようちクラス」、3歳から15歳を対象にした「空クラス」さらに障害のある子どもを対象とした「風クラス」そして大人を対象とした「あとりえmanma」の各コースを設けられておられます。会報誌に書かれていたあるお母さんの文章ですが「長女が描く自身の絵が妹より小さい事に気付き、それ以降長女に母親を独占させる時間を持つよう心掛けた」とのことでした。絵からいろんな事が分かることに驚きました。

利用者の気持ちに寄り添い 全員に目が届く事業を！



居宅介護事業、重度訪問介護事業、行動援護、移動支援、生活介護(Trunk)が主な事業内容です。

連絡先
〒662-0912
西宮市松原町12-4
TEL: 0798-23-2616
FAX: 0798-23-2617
Mail: flat@bca.bai.ne.jp



活動作業場、販売などの拠点として利用されています。今は1名の利用者が通所し、他にも、ヘルパーの派遣・介護をこの事務所で手配しています。事業内容は、①居宅介護事業②重度訪問介護事業③行動援護④移動支援、そして、⑤生活介護が主な活動で、別に鷺林寺に畠を借りており、野外の作業も、取り入れてもらつしゃいました。常勤は理事長を含め数名、その他ヘルパーや利用者が集まり和やかに活

1階、2階では生活支援の場、1階では作業のほか、「豆腐」「野菜」などを販売しております。自慢の豆腐を早速試食をさせていただきましたが、社交辞令無しに深みのある濃厚で美味しい豆腐でした。この豆腐に大変興味を持ち、色々聞き

ますと、豆腐作りは全くの素人ですが、団体として扱う商品については随分企画について色々苦しみ、試行錯誤、試作などの中より「毎日消費されるもの」「他の団体と競合しない商品」「大手ではない手作りの良さが出る商品」という考え方の結果「豆腐作り」を思いつきましたが、現在の豆腐の完成に

ともすれば、一般的に生ものを扱う危険性や衛生観念などをマイナス思考から入りがちな私達にとって、常識を乗り越え、豆腐も羊羹のように一個ずつ丸い風船にいれて、食するときに爪楊枝で穴を開けるとクルッと豆腐が出てくるその面白さ、衛生面、味…よく考えられているなあと感心しましたが、月平均300個以上が売れたり、今までの発想に理事が2階の会議室に案内され、お話を伺いました。

ー実施事業についてー

ー理事長の想いー

設立メンバー3名は同じ法人で働いていましたが、自分の想いが表現している実践が思うようになります、多くのやりたい事が膨らみ、小規模な全員が分かる、目が届く事業をやりたかった、利用者に近い目線で大規模ではできない、利用者の気持ちに寄り添った生活の場の提供が今日の同法人の指針になつていると熱く語る湯浅理事長。他に何か、工賃とやりがいある仕事はないか何時も頭からはなれず、多忙な毎日ですが、地域とのかかわりを通してノーマライゼーションの実現を目指し、これからも新しい試みを続けられる事でしょう。(訪問者井本)



より良い行政施策の実現で
市民のための行政、自治を！

市民オンブズ西宮

代表世話人 折口 晴夫

おりぐちはるお



問題の当事者、被害者になつてからではもう遅い

市民オンブズ西宮は、市議会の傍聴や情報公開を通じて、活動や公費支出をチェックし、市民にとってより良い行政施策の実現によって、市民のための行政、自治を目指しています。

連絡先

〒662-0881

西宮市上ヶ原七番町 1-6-107

TEL/FAX : 0798-52-9157 (折口)

Mail : haruo@fancy.ocn.ne.jp

URL : http://omb-nishinmy.jugem.jp/



設立経緯
代表世話人の折口さんは90年代から市民運動に参加され、95年全国的に展開された官官接続の追及を市民オンブズマン兵庫も行い、その住民訴訟にも関わられました。西宮にも必要だということで2001年「市民のための行政・自治を目指す」市民オンブズ西宮が誕生しました。

一活動とジレンマ

活動の中心は、議会の傍聴や監査請求などを通して、ひらかれた議会・議員特權の廃止を目指しています。記憶に新しい元兵庫県会議員の号泣会見。その際も兵庫・尼崎のオンブズマンとともに合同記者会見をし県警への告発に至りました。その際にも兵庫・尼崎のオンブズマンとともに合同記者会見をし県警への告発に至りました。マスクで大きく取り上げられるのは氷山の一角。市民オンブズ西宮では立ち上げ以来、議員の政務調査費（現



一自治への道

在は政務活動費）の情報公開、自治体補助金の監査請求、住民訴訟などを続けてこられました。西宮市議会における政務活動費の領収書添付が始まりたのは2007年度分から、とのことで正直驚きました。自治会やPTAでも当たった。自治会やPTAでも当たった。以前に会計処理していることをやらずに済んでいたとは… 知らなかつた私も情けない。

現在西宮では政務活動費の詳細すべてを情報公開課及びインターネットで公開、議会中継もあり、議員の賛否もHPにて確認することができます。

「以前と比べれば随分よくなつてきたけれど…会派主義が続いている限り、議会の体質を変えていくことは難しく、得票目的の活動に終始する議員もいる。市民に誤解されるが、オンブズマンには施策を是正する権限などない。本当はもっと行政施策そのものへの働きかけをしたいのだが…」と折口さん。いつまでたっても税金の不正使用のチェック機能として活動していかなければならぬ、しかも手弁当で。「うん」と考え込んでしまつた私の展望を語ってくださいました。

「問題の当事者、被害者になつてからではもう遅い」という言葉が印象的でした。様々な出来事を自分や大切な人に関連づけて考えることが必要だと思いました。

(訪問者 廣田)

今どきのママは大丈夫? ママ同士のコミュニティ作りへ



2016年7月設立。
女性の健康（特に産前産後の女性）を運動面からサポートする活動を行っています。産後、赤ちゃん連れで参加できる教室も開催しています。

連絡先
〒662-0823
西宮市神咲町 8-20
TEL: 090-4493-9326 (池田)



特定非営利活動法人

すこやか女性プロジェクト

副理事長 池田 公美
(写真左) いけだ くみ

理事長 柚木 京子
(写真右) ゆうき きょうこ



「今どきのママは大丈夫?」
今の若いママたちは、50歳代のシニア向け体操教室についてこれないんです。理事長の柚木京子さんは「最近のママさんの体力・筋力の無さにはビックリします」と話す。妊娠して夫婦だけで出産を迎えるカップルも増え、ネット情報を盲信してひとり悩んでいるママも少なくない。若い女性の骨盤を支える筋力の低下は著しく、特に産後に体調不良に陥り医療機関に通いながら育児をするママも増えているとのこと。何もかもが便利で楽な世の中になり、昔のように妊婦が田畠を耕したり家で雑巾掛けすることなどが無くなつて筋力が落ち、さらに正しい知識と基礎体力を欠いた女性たちの将来には大きな不安が拭えない。同じ女性として早く手を打たね

日本マタニティフィットネス協会に所属する理事長とメンバーは、これまで産婦人科医院や民間のヨガスタジオ等で妊婦の体力づくり教室を行ってきたものの、この活動を広げるための限界を感じていた。これからはもっと行政や医療機関等と連携し地域で活動を広報しながら、将来ある女性たちを運動面からサポートしたい、その思いを実現する一歩として任意団体からNPO法人へと組織変更した。また法人となつた目的のひとつに「運動をサポートすることから更に進めてママ同士のコミュニティを作りたい」との思いがある。今どきのママは周り

が経験豊富な「先輩」がないなくて出産や育児の場で孤立している、頼るのがもっぱらスマホのネット情報では先行き心配で「人と人が顔と目を合わせながら交流し、必要な情報を交換するママ同士のコミュニティを作ることは、NPO法人だからこそできる活動だと思っています」と語る。

設立は2016年7月、出来たてのNPO法人である。人の活動原点になつていて、設立は2016年7月、出来たてのNPO法人である。先日は、妊娠中の妻にペアとなり、お互いのいたわり合う気持ちを醸成する「パパファイット」と呼ぶ講習を行つた。そんなママたちに向けては、どうやって活動を宣伝しているのですか?と聞いたところ「それが今後の課題なんですね」ということ。有効な情報の発信はこれからとしても、今も十分に魅力的な活動はいずれママたちの間に伝わっていくに違いない。活動の中心地は、西宮市市民交流センター1階の体育室。また一般女性の体調維持のための運動教室も行つている。あいにくその見学は「男子禁制」。だからこそ、関心ある女性はぜひ一度この講習を体験されてはいかがだろ



うか。（訪問者 白石）

特定非営利活動法人ダンスプロジェクト E.d.M



自己発信をテーマに、今後の日本を担う
子どもたちの心に目を向けています！

特定非営利活動法人

ダンスプロジェクト E.d.M

理事 上村正子

かみむらまさこ

ダンスを通じて 心を育てる

2015年12月設立。
ダンスを通じて子どもたちの心を育てる
というコンセプトで青少年の育成に特化
した団体を立ち上げる。

連絡先
TEL: 050-5276-1981
Mail: info@edm.or.jp
URL: http://edm.or.jp/

世界を舞台に活躍してきたダンサーと仲間がNPO法人をつくった！理事でダンサーの上村さんにその思いをお聴きました。

一活動にかける想い

基本は子どもたちにダンスを通して体を動かすことで心を開いてもらうこと。学校や家庭の問題をかかえても誰にも言えずにいます。最初に来たときは笑顔もないし「ああ…」くらいの反応しかない。そんな子どもたちの人には言いたくない辛い部分を、ダンスを通して関わりながら引き出していく、それがその子の笑顔を引き出す一番の近道なんです。涙を流して思いを吐き出していく間にやりがいを感じて活動しています。

小中学校の頃、いじめにあったりしたのですが、母はものすごく愛情を注いでくれて、悪いことは悪いと全身全霊で教えてくれたんです。そういう母に育てられて、心が詰まっている子どもたちに出会うと、自然にセンサーが働いて放つておけない。反応がなくとも引き止めて泣いて笑顔になるまで絶対に離しません。「向き合うことを行なうー」「詰まっているものを今出し」と



なりますし、褒められてばかりだと奢りが出て謙虚さや初心を忘れてしまう。子ども達に挨拶や礼儀などを教えるなら私自身も学んでいます。本当にありがとうございます。

一子どもたちに伝えたいこと

「一生懸命、生きるー」ことで、「生きたいか？」を考えてももらいたい。みんなに与えられた人生、命、全員意味があるのだから、それを見つけてやってきていて役目があるのだか

ら、その手助けはするからとにかく、その手助けはするから…。そんな子どもたちが笑顔になつて成長して、私から巣立つていくときは少し寂しいけれど、その子どもたちがまた、感謝の気持ちを伝えてくれる。「それでいいんだ」と思えるようになりました。

一取材で感じたこと

私自身、両親が離婚していて、自分自身が育ててもらっている、成長できる一番の近道のようになります。大人になると怒ってくれる人たちも少なく

なりますし、褒められてばかりだと奢りが出て謙虚さや初心を忘れてしまう。子ども達に挨拶や礼儀などを教えるなら私自身も学んでいます。本当にありがとうございます。

私たちの想いである「子育てをみんなで…」を実現されている姿に感銘しました。ありがとうございました。ダンスプロジェクト E.d.M サンのレッスンは、月に一回行われています！気になった方は、ぜひ、お問い合わせ下さい。

（訪問者 中島）

NPO

訪問記

見守り育てることで人は成長することができる

NPO法人

Namae

理事長 北野 美貴

きたの みき



障害のある人たちが社会の一員として、働く喜び、生きる喜びを持って生活していくことを支援し、障害を持つ人たちへの理解を深め、互いに認め支え合う「共に在る」社会をめざしています。

連絡先
TEL 663-8211
西宮市今津山中町 7-22
TEL・FAX : 0798-34-2039
Mail : sayo.namae@ray.ocn.ne.jp



最初にこの活動を始めたのは20数年前、『障害のある子ども達を普通学級と一緒に学ばせる』という運動が盛り上がった時期で、教育関係者が、悩むご家族の相談にのつたところから自然発生的に生まれました

就労継続支援B型という、障害のある方が働くこの作業所で、代表の北野さんにお話を聴きました。

これまでの活動や思い
最初にこの活動を始めたのは20数年前、『障害のある子ども達を普通学級と一緒に学ばせる』という運動が盛り上がった時期で、教育関係者が、悩むご家族の相談にのつたところから自然発生的に生まれました



何の作業が良いかスタッフの方々の中で試行錯誤して、今は、刺し子刺繍のふきんやコースター等の形になりました。刺し子刺繡のふきんやコースター等の手作り品、牛乳パックを使った、葉書、和紙やカレンダーなどを作って販売しています。

地域に開かれた場所にしたい
今、力を入れていることは
地域に開かれた場所にしたい
という気持ちでつくられたギャラリーは希望があれば無料で利用でき、取材当日は初めて個展を開いたという方の色鉛筆の素晴らしい絵が展示されました。

ギャラリーを観に来た方々がメンバーサンたちが仕事を頑張っている姿を見る。皆さんもお客様がいつも来て自分達のこと見ててくれていると思えるのだとお聞きし、これから一市民として覗きに来よう」と思い取材を終えました。

利用者の方はここに来てどう変わられますか?
「自分の主体性や意欲が出てきます。みな真面目なんですね、広がってきています。

(訪問者 中島)

このメンバーさんたちは一生懸命なんです」と言われるよう、皆さんの真剣にお仕事を向き合う姿と、「仕事が楽しい」と目を輝かせて言われる姿が印象的でした。

皆、絶対評価します。一人ひとりがどれだけがんばってきたかを評価しています」と長い経験からの北野さんの言葉は重く、「その人なりの成長をありのまま受けとめて絶対評価する。そうやって見守り育てることで人は喜んで成長することができます」

NPO

訪問記

西宮お手玉の会

会長 高田 昌子

たかだ まさこ



伝統的な遊びを通じて 「楽しさプラス健康」を！

兵庫県の500人委員会第1期生で組織していた「ココロンクラブ」という心豊かな人づくりを目指す団体のメンバーに「日本お手玉の会」の会員がいたことから同団体を基盤に日本お手玉の会西宮支部として発足。

連絡先
〒663-8002
西宮市一里山町6-11
TEL・FAX: 0798-53-5766 (高田)



ー活動の目的

「お手玉遊びを通して世代を超えた交流を図り明るく心豊か

お手玉の会西宮支部として発足し現在に至つたそうです。

会も増えてきたとのことです。

(訪問者 立田)

ー発足のきっかけは500人委員会

昔遊びの一つが名称となっていることで比較的印象に残りやすい団体ですが、毎年恒例の「にしのみや市民祭り」に参加しているコーナーと十月の定例会の会場にお伺いし、会長の高田さんはじめ会員の皆さんからお手玉遊びと会の状況をお聞きして感想をまとめてみました。兵庫県500人委員会第1期生で組織して「ココロンクラブ」という「心豊かな人づくり」を目指す団体のメンバーに「日本お手玉の会」の会員がおられたことから「ココロンクラブ」の基盤に賛同者が加わり日本お手玉の会西宮支部として発足し現在に至つたそうです。



ー課題とお願い

現在の会員数は十四名ですが、

お手玉への関心の高まりと期待から保育園や小学校その他各種団体からの協力依頼もあり楽しさは広がっていくと思われますので、伝統的な遊びを通じて何か役に立ちたいと考えておられる方々の積極的な活動参加を求められています。特に男性会員は現在少ないですが、今後のご協力が沢山得られることを期待しています、ということでした。

ーお手玉を作るところから教えています

と、テレビや新聞雑誌での「お手玉が健康維持に良い」との報道の影響か、お手玉に興味を示す人や団体が増えてきて、地元の小学校から昔遊びの一つとして「お手玉」を取り上げられ指導を依頼されるメンバーや、各種施設の催しや「いきいき体操後の運動」として地元のお手玉指導が求められる機

お手玉での遊び方を学んでいたただくだけではなくて、お手玉を作ることも指導しています。昔の人は自分で使うものは自分で作ったという伝統を引き継ぐという面もありますが針を使って手で縫つていくという作業そのものが貴重な経験にもなり、面白さが一層増してきます。腕前の向上への励みとして初段～六段の資格認定試験や、お手玉遊びに競技制を取り入れた「お手玉遊び大会」があり、西宮お手玉の会の有段者もお手玉大会に出場したこともあります。

NPO

訪問記

自分の人生を自分の力で。
高校中退者の進学を支援！

一般社団法人

new-look

代表理事 山口 真史

やまぐち まさし

設立：2013年5月1日
高校中退者サポートを行うだけでなく、
大学や専門学校の進学を支援していま
す。働きながら通っている方�数多く
います。

連絡先
〒663-8032
西宮市高木西町14-6
TEL・FAX：0798-56-7139
URL：<http://www.new-look.jp>

すべての若者が、
自分らしく生きる
きっかけを！

一法人を設立した経緯
TOB塾（とぶじゅく）は、
高校中退を選んで、高校を飛
び出して、自分で人生をスター
トする人を応援する塾。つま
り自ら感じ・考え・行動しな
がら生きていくことを目指し
ています。

代表の山口さん自身も高等専
門学校を中退した経験がある
そうです。後に大学に行きた
いという思いがつのり、関西
学院大学に合格。同時にNPO
法人で青少年に対するボラ
ンティア活動（小・中生を対
象にした子供キャンプや不登
校の子供の支援、家庭教師や
補習教室など）を始めていた
そうです。卒業していったん
は就職をしたもの、200
7年関西学院大学大学院教育
修士を取得。2009年に



友達にいじめられたり、引き
こもりになつたりして中途退
学をする子どもが毎年、数人
います。なんとか彼らを救う
ことはできないだろうか？」
と感じていたそうです。

高校に行かなくても、高等学
校卒業程度認定（高認）を取
得すれば新しい人生が広がり
ます。少なくとも、高卒の資
格を取得し、専門学校や大学、
就職を自分で選択できるので
はないか？そういう問題を
解決するために代表の山口さ
んは3年前に一般社団法人
new-lookを設立されました。

（訪問者 中村）

①学習支援事業（サービス名：
TOB塾（とぶじゅく）※高
校、専門学校、大学を目指す
人を学習支援します。
※2016年入学実績／関西
大学など、高等学校卒業程度
認定（高認）
②進学相談・就職相談
③自然体験・社会体験事業
(サービス名:となりのはたけ)
には私学の一貫教育校で社会
科を指導し、その後、担任・
学生主任などを経験されてい
たそうです。そのときから「中
学校を、学校に馴染めなかつ
たり、経済的に苦しかったり、
学高校を、学校に馴染めなかつ
たり、経済的に苦しかったり、
友達にいじめられたり、引き
こもりになつたりして中途退
学をする子どもが毎年、数人
います。なんとか彼らを救う
ことはできないだろうか？」
と感じていたそうです。

取材したその日には生徒さん
と先生が一緒に食事をしてい
ました。自分たちで食事を作
り、食べているそうです。生
徒さんはそんな時間に自分の
夢や悩みごとを相談したりし
ています。まるで『冗談』の
ようです。また彼らのお父さ
んやお母さん向けに相談を受
けているそうです。

TOB塾には午前中働いてい
て夜に登校する人や自分で稼
いだお金で登校する人もいま
すので、今後更にそういった
生徒が学び易い環境を整えて
いくそうです。

経済的な困難を抱える家庭の子弟を
学習支援で学力格差を無くしたい！

特定非営利活動法人

阪神つばめ学習会

理事長 庄司 知泰
しょうじともひろ

阪神つばめ学習会とは、経済的に厳しいご家庭の子供達のための学習支援を無料で行っている学習会です。2015年8月より西宮で活動を開始。2016年4月より神戸でも活動を開始。8月より特定非営利活動法人となりました。

連絡先
Tel : 0798-35-1010
Mail : hanshin.tsutame@gmail.com

「断らない」「頑張らない」「あきらめない」



東京に八王子つばめ塾という無料塾があることを知り、東京まで出向いて延々4時間ほど細かい運営方法や問題点などを聴取し、自分でもやれそうな感触を得ました。大学の知人4人に相談し協力を得られることになり、平成二十七年八月に団体を立ち上げ平成二十八年八月に法人化しました。

西宮市と神戸市で教室を開催しており常時活動に参加されているのは約20名くらいです。子どもたちは中学生が対象ですが小学生も状況に合わせて受け入れています。家庭学習の手助けとして自習で解からないところをわかりやすく教えています。「勉強したい」と子ども自身が意欲を持っているところを受け容れています。現在

2年前私はボランティアで養護施設の塾で子どもたちを教えていました。自分は経済的に恵まれていましたが、家庭の事情で十分な学力が習得できない子どもたちがたくさんいることを知り、なんとかしてこのような子どもたちの学習支援ができないかと考えていました。

講師は大学生、元塾講師、翻訳家など約百名がボランティア登録しています。無理をせず時間的に対応できる方に協力して頂くようお願いしております。「断らない」「頑張らない」「あきらめない」をモットーにさ



してあります。夜の2時間の学習時間があつという間に過ぎてしまいます。

一取材で感じたこと

お話を伺った理事長の庄司知泰さんは、会社経営の傍ら学習塾を運営されています。話の端々に子どもたちへの愛情と塾の存続について並々ならぬ強い熱意が覗えました。

ロコモでこの学習塾を知った人たちの輪ができ、ホームページのアクセスも増えているとか。最近では朝日新聞の教育欄で「教育格差を防ぐ支援の輪」として「阪神つばめ学習会」が取り上げられています。

「同じ思いを持った人との活動の輪を広げたい」と願う一方で教室確保に苦労されており、何らかの行政支援ができるものかと考えさせられます。

「断らない」「頑張らない」「あきらめない」をモットーにさ

れる塾運営に努力している庄司さん、阪神つばめ学習会の活動がより多くの人たちに認知され、協力の輪が広がっていいくことを願って止みませ

NPO

訪問記

障害者がパソコンワークを通じて存在感を感じる社会へ

特定非営利活動法人

阪神パソコンネット

理事 井本 芳助

いもと よしすけ

理事長 田中 久富

たなか ひさとみ

障害者がパソコン操作のスキルアップを努力し、自立と就労を可能にするNPO法人運営を目指して活動しています。

連絡先

〒662-0978

西宮市産所町2-19

Tel : 0798-32-6531

URL : <http://hpcon.jp>

Mail : hpcon@miracle.ocn.ne.jp

井本「私は阪神・淡路大震災が起きた頃、神戸の建築関係の商社で役員をしていました。震災が起きて大きく人生が変わりました。震災後の神戸で、交通状況も悪い中、自分の足を使って様々な働きをしました。心身とも限界の状態でした。それが原因でその後、心臓の弁に異常が見つかり、手術をして1ヶ月入院しました。それで、障害者認定されました。それまで自分が障害者認定を受けるとは思ってもみませんでした。誰もが障害者になる可能性があるのだと、そのあたりから少しずつ意識が

田中「私も、交通事故をきっかけに障害者認定を受けることになりました。それがきっかけで伊丹の能力訓練校に行くようになり、そこで井本さんと知り合いました。」



井本「手術の後、会社で情報室の統括を任せられることになり、総務の一元化に貢献しました。当時、Windows95が発売され、空前のパソコンブームが起ころうとしている時期でした。その後、しばらく休暇をとったのですが、その後NPO団体と出会いました。そのことがきっかけで、作業所を開設することになりました。当時はパソコンブームの影響もあり町のパソコン教室が大繁盛でした。ただ、受講料は高価で数名以上の教

室スタイルでは個々のレベルに合わせず、せっかくの意欲を生かされない方が多々いるのではないかと思い、障害者、高齢者に目線を合わせ個人レッスンを中心としたパソコン教室をはじめました。受講料もカルチャーセンターより安い値段で通えるように設定しました。」

（訪問者 矢野）

「障害者がパソコンワークを通じて存在感を感じる社会へ」と題して、障害者が本当の意味で自立と生きがいを実現するためには、パソコンの知識は不可欠だと私は考えています。ハンディがある障害者にとって、パソコンはそれを補い、広く社会とコミュニケーションを可能にし、今までできなかつた問題を可能にし、大きな恩恵を持たらすもの。障害者がパソコン操作のスキルアップに取り組み、自立と就労を可能にするNPO法人運営を目指して活動しています。」

自治体との 協働事業 「成年後見制度」 「相続」

NPO 法人
兵庫県不動産コンサルティング協会

理事長 田中 博行
たなか ひろゆき

たなか ひろゆき

土地の 有効活用

事業用定期借地

借地・借家の権利 関係の調査・整理

連絡先
〒663-8183
西宮市里中町 1-1-19-101
TEL : 0798-44-3970 FAX

マンション管理組合 への支援

URL : <http://www.hreca.or.jp>
Mail : mail@hreca.or.jp



町の不動産屋さんは住宅土地の売買、仲介が専門で、例えば相続で得た不動産の処分の場合他の専門家が必要となる場合もあります。

一活動的具体例①

信託銀行だけでは解決できぬ
い問題が多く、それらの問題
の解決には、さまざまな専門
家が必要になるため、いろい
ろな専門家の集まりの NPOC
法人を平成13年に立上げ、
15年たります。

1町の不動産屋さんと何が違
うのでしょうか?

一 設立の経緯

貸人としては、契約解除した
いが、他人の物を勝手に処分
できず、賃料がはいらない
うえに新たに貸すことでも
きず困っていました。協会が
相談にのり、解決方法等をア
ドバイスしました。後日、無
事解決したと嬉しい報告があ
り、当法人の強みを活かして

戻して返還するようなコンサルを受けた場合は、一人の専門家では手に負えません。土地を原状回復する場合は、畦の復元や取水口と排水口の設置等に関する土木施工仕様書までを作成しました。農地として土を入れる等の種々の知識が必要となるためです。

一活動の具体例②

【駐車場の費用の不払い】

駐車場を借りていた賃借人が車を置いたまま、駐車の賃料を払わなくなりました。借貸人としては、契約解除したが、他人の物を勝手に処分できず、賃料がはいらないうえに新たに貸すこともできず困っていました。協会が相談にのり、解決方法等をアドバイスしました。後日、無事解決したと嬉しい報告があり、当法人の強みを活かして

—取材で感じたこと

お役に立てたなあと、ほっと胸をなでおろしました。

一活動の具体例③

【成年後見制度の相談】

不動産と直接関係ないようと思えますが、高齢のため施設に入居した結果、住居が空き家となり、管理のため成年後見制度が必要になるケースが発生します。

この場合所有者が亡くなつたあとのことまで想定する死後事務業務契約をしておくことが重要です。

協会では社会環境の変化に伴い発生するいくつかのテーマをもって年数回研修事業を開催しています。

その他マンション等で管理費の長期滞納等が発生した場合、少額訴訟とかに持ち込む必要がありますが行うと、結構大変な作業になりますが、協会には実務経験者の簡裁訴訟代理関係業務認定司法書士がおり、スムーズに対処可能とのことでした。



2016年1月設立。
市民の生活を支援するために、
福祉情報サイトを運営し、市
民が集まる場所や機会を作り、
市民交流支援を行っています。

連絡先
〒662-0034
西宮市西田町 6-4
TEL : 0798 - 81 - 5301
URL : <http://mivasapo.net>



構想は10年以上前から持つて
いました。以前、特別養護老
人ホームで高齢者介護に関わ
る仕事をしているときに、ご
利用者さんやご家族から相談
て下さい

われる代表の中島さんにお話を
してお聞きしました。

**子どもたちの声が聴こえるこの場所、
この街で、市民のための情報発信を！**

NPO法人

みやっこサポート

理事長 中島 恵美

なかしまえみ

力を合わせ 支え合い ともに健やかに

昨年10月にオープンした、美しい緑の公園の景色が見える、事務所兼地域交流スペース『つづくテ西田公園前』に伺いました。

なくかぐれの市民が、抱っこ
じかい、「助かる!」と叫ぶる
街づくろを田舎やいと郷ひよ
りに見つめつゝ。

—現在の活動と今後の展望

を受けるなかで、介護保険制度になつても地域に深刻な問題が取り残されているのを目撃したりにして、いくつか地域のボータルサイトの制作を進

ントなどを行つて、市民の方々がお知り合いを増やせるような活動をしながら、福祉情報

福祉に役に立ちたいと漠然とめているそうです。

「一人、また一人と支援の輪が広がってきてています。皆さん の力を一つにしていけば、素 晴らしい街になると思います ので、ぜひ『つどっテ西田公 園前』に遊びに来てください」

—取材で感じたこと

園前】に遊びに来てください】

今回、理事長の中島さんのお話を聞いて、地域と地域のみ

なさんに対する強い想いを感じ

この地域交流スペースが、い

場所になり、地域と共に支え

とを願っています。

(訪問者 矢野)



編集後記

「みやしるべ」の事が装いも新たに完成しました。今では、NPOに馴染みの少ない高校生や大学生を交え「NPOって何?」というテーマで座談会を行い特集記事でご紹介しています。これから日本を担う10代から、働き盛りの30代、40代、これまでこの国を支えてきた70歳を超える世代まで、世代を超えた議論がで、初めての試みとしては満足いく結果になりました。

NPO等がより主体的に地域の生活課題に取り組むためには、こうしたボランティアへの関心や地域福祉活動に興味を持つてもらうための活動が必要だとあらためて感じました。そして、NPO訪問記では、12団体を取材しました。記事の作成はすべて広報部会のみんなで行い、写真もほとんどが撮り下ろしです。

NPO法人は西宮市だけでも、平成29年の1月現在で179団体あり、この数は意外にも

西富市内のすべての「ンビニエンストア」の数より多いんですね。「ンビニ」よりも、「NPO団体のメンバー」でも、普段なかなか他の団体と触れ合う機会がないところもあり、取材をすることだけ、どういった団体があるのか、どんな活動をしているか、実際に目にすることができる、新たな発見をすることが多々ありました。特集記事の冒頭でも書きましたが、NPOは福祉分野のみではなくさまざまな分野で活動しています。そういったことも含め非常に興味深い記事ができたと思います。

今回、写真にもこだわり、少しでも多くの市民のみなさまに興味を持っていただけるように、そしてNPOで活動する方々の思いが市民のみなさまに伝わるように思いを込めて制作しました。気になった団体があれば、記事の中に連絡先を記載しておりますので、ぜひお問い合わせください!

今回「みやしるべ」への取材協力を表明して頂いた団体の皆様（掲載先団体を除く）

本誌、NPO 訪問記は市内の NPO 部会の皆様にアンケートを実施し「みやしるべ」への取材へ「協力できる」と回答して下さった団体へお伺いしたものです。NPO 訪問記として掲載された団体以外にもたくさんの方々の回答をいただきました。本当にありがとうございました。

「(特)Felio」「(特)ハートフル」「(特)関西トータルヘルスサポートセンター」「地域活動支援センター太陽」「兵庫県地球温暖化防止活動推進員会」「(特)アマモ種子バンク」「あゆみの会」「(特)ゆーあい」「公益社団法人日本空手協会賛助会員西宮支部」「(特)介護保険をよくする西宮市民の会」「(特)支援の会ひまわり」「(特)こころ・からだ研究所」「(特)障害者生活支援センター遊び雲」「ゆりの会」「西宮いきいき塾」「(特)兵庫県防災士会」「(特)銀のロバ」「(特)人と地域の活動応援団ぽっかぽか」「(特)認知症予防サポートネット」「(特)西宮市マンション管理組合ネットワーク」敬称略
略記：(特)特定非営利活動法人（なし）任意団体